

信用保証トピックス (令和6年7月)

令和6年度第1四半期の状況について

■ 保証の状況

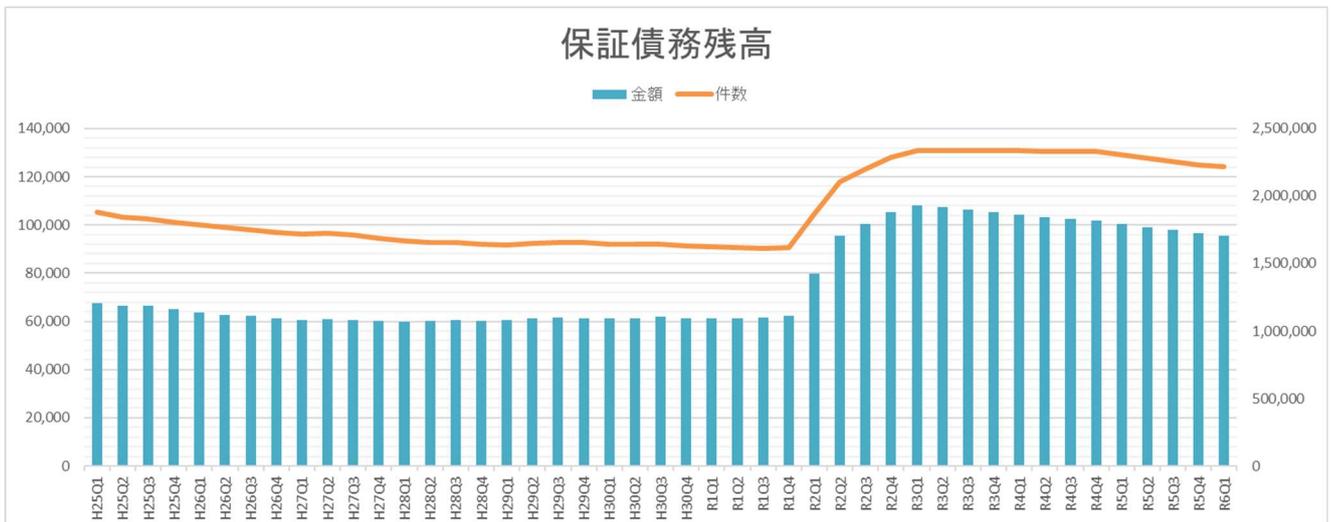
① 保証申込・承諾の状況

- ▶ 第1四半期は、引き続き伴走支援型特別保証制度（コロナ借換保証）の利用が好調で、保証申込は7,721件（前年同期比112.9%）、1,538億円（同121.8%）となり、ゼロゼロ融資が大規模実施された令和2年度を除いた過去10年間において、保証申込（四半期合計）が最も多くなりました（件数、金額とも）。
- ▶ 第1四半期の保証承諾は、6,798件（前年同期比105.2%）、1,298億円（同111.3%）となり、令和2年度を除いた過去10年間で2番目に多い保証承諾額（四半期合計）となりました（件数は7番目）。
- ▶ これは、ゼロゼロ融資をはじめ、積み上がったコロナ関連融資の借換需要が依然として旺盛であることに加え、国による保証料補助（一部）が受けられる「伴走支援型特別保証制度」の当協会での取り扱いが、6月末の申込受付をもって終了することに伴う「駆け込み申込」の増加が背景として考えられます（第1四半期の保証申込における伴走保証の内訳：3,406件（前年同期比146.6%、構成比44.1%）、929億円（同157.2%、構成比60.4%））。



② 保証債務残高の状況

- ▶ 保証承諾は増加しましたが、ゼロゼロ融資をはじめとする既存融資の借換保証が多く、一方で昨年度来の返済本格化により償還が増加していることなどから、保証債務残高は引き続き減少傾向で推移しました（6月末残高：124,281件（前年同期比96.3%）、1兆7,059億円（同95.1%））。



■ 事故・代位弁済の状況

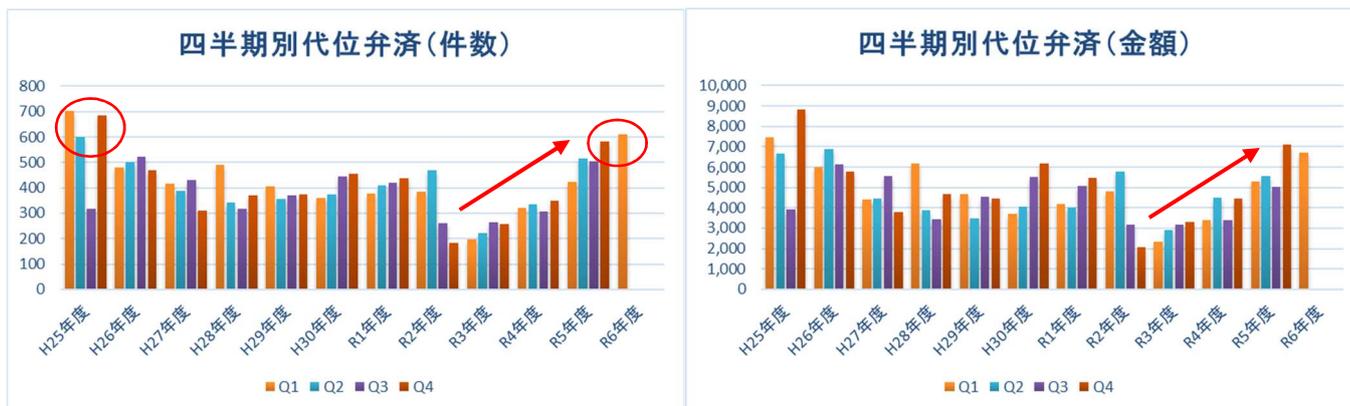
① 事故報告の受付状況

- ▶ 昨年度、事故報告受付金額は、前年同期比 141.2%と大きく増加しました。今年度も、ゼロゼロ融資等による過剰債務や原材料価格の高騰、人手不足の深刻化等を背景として依然増加傾向が続いており、第1四半期の事故報告受付は、795件（前年同期比 104.9%）、90億円（同 102.9%）となりました。



② 代位弁済の状況

- ▶ 昨年度からの事故報告の増加に伴い、代位弁済も増加傾向が続いており、第1四半期は612件（前年同期比 144.0%）、67億円（同 126.1%）となりました。特に件数においては、平成25年度以来約10年ぶりの600件台となりました。
- ▶ 今のところ、過去の経済危機時の水準には至っておらず、今年度の経営計画における代位弁済見込額の範囲内での推移となっていますが、今後もその動向を注視していく必要があると考えています。



■ 今後の見通しと取り組み

6月末で「伴走支援型特別保証制度」の当協会での取り扱いが終了したことを受け、今後保証申込は減少することが見込まれます。このような中、7月1日付で、金融機関等による事業行動計画策定・修正の支援や事後の経営支援等が受けられ、保証料が通常より1区分下の料率が適用（原則）される「経営力強化保証制度」が創設されました。今後はこの制度をはじめ様々な保証制度等を活用するとともに、実地調査等を通して個々の実態や将来性を的確に把握し、必要に応じて保証後のフォローアップ訪問も行うことで、創業者や事業者の皆さまの前向きな資金調達や借換え、さらには収益力の改善について後押ししてまいります。

一方、経済環境は、一部で回復を示す動きがあるものの、原材料価格高騰や人手不足などを背景に厳しい状況が続く見通しであり、事故報告・代位弁済は今後も増加傾向で推移していく見込みです。このような中、当協会では、現在実施している金融機関の支援が届きにくい事業者（主に返済緩和先）へのフォローアップ訪問にさらに重点的に取り組み、個々の実情に応じた適切な支援に早期につないでいくなど、一歩先を見据えた経営支援、再生支援を、金融機関・関係機関との緊密な連携のもと、積極的に実施してまいります。



兵庫県信用保証協会

TEL078-393-3922（総務企画部 企画調整課）